

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164090	6次産業化推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,547	2,690		1,143
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	525	125		-400
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	1,022	2,565		1,543

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

地域づくりへの参加を促進する

事業開始の背景・経緯

・平成26年6月に閣議決定された日本再興戦略（改訂2014）においては、6次産業の市場規模を現状の1兆円から2020年までに10兆円にするとの目標を掲げている。市としても、地域活性化を図るため、農業・農村の6次産業化を総合的に支援する必要がある。

事業概要

6次産業化セミナー・個別相談会の開催 250千円  
 6次産業化実践者及び志向者を対象としたセミナー・個別相談会の開催  
 農商工連携推進 2,440千円  
 新たな加工品開発等にかかる農商工連携事業補助金の交付等

担当部署	05200000 地域振興部 定住推進	担当課長	鈴木 早織
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

今年度開催の6次産業化プランニング講座受講者より、専門家への個別相談実施、繰り返し学ばないと実践につながっていかないなどの意見がある。

事業手法の詳細 1

6次産業化セミナー・個別相談会の開催 250千円  
 ・6次産業化の取り組みの段階に応じた支援を行うため、生産・商品開発・加工から販路開拓・経営までのテーマ別にセミナーを3回開催した。  
 ・また、各段階における事業者の課題も多様化しており、個別具体的な課題解決を支援するため、専門家による個別相談会を実施した（限定5事業者、1事業者持ち時間60分）  
 （対象者は6次産業化に興味のある農業者、6次産業化に係るセミナー過去の受講者、農商工連携事業補助金活用者等の6次産業化実践者）

農商工連携推進 2,440千円  
 農商工連携事業補助金  
 花巻産の農畜産物を活用し、加工品開発、加工施設整備に要する経費を助成する。  
 ア．加工品開発 補助率：2分の1、補助額上限200万円 実績3件  
 （継続して事業実施する場合は、一年度内1回とし、連続する3年度内の3回までとする。）  
 イ．加工施設・機械整備 補助率：3分の1、補助額上限100万円 実績3件

食品商談会同行旅費  
 農商工連携補助金の活用や市の伴走支援により事業者が開発した6次産業化商品の販路開拓を支援するため、事業者が参加する首都圏での商談会等に同行するものだが、コロナの影響により中止。  
 （対象者は6次産業化・総合化事業計画認定者、農商工連携事業補助金活用者等の6次産業化実践者）  
 農商工連携・6次産業化に関する情報提供  
 段階に応じた自主的な6次産業化の実践を促すため、6次産業化に関するセミナーや商談会、展示会等の開催情報を提供した。  
 （対象者は6次産業化総合化認定計画認定事業者、農商工連携事業補助金活用事業者、認定農業者、市への相談者、集落営農組織、認定新規就農者、食品加工業者等）

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164090	6次産業化推進事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164360	花巻クラフトワイン・シードルブランド化推

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		13,044	13,151		107
財源内訳	国費	6,029	6,576		547
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	5,000	6,000		1,000
	一般財源	2,015	575		-1,440

特定財源の内訳

<p>・醸造研修受け入れ支援 1件 35千円                  研修生：もんのすけ農園、研修受入先：株式会社スリーピークス（大船渡）</p> <p>・醸造技術・ワイナリー経営セミナーの開催 2回 349千円                  マーケティング戦略セミナー（日本コンサルタントグループ）、日本ワインセミナー（鹿取みゆき）</p> <p>・ワイナリー整備等事業補助金 8件 8,361千円                  ワイナリー新設1件、醸造設備の新規導入3件、販路開拓4件</p>					
---	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

地域づくりへの参加を促進する

事業開始の背景・経緯

・平成28年11月29日に国の構造改革特区「花巻クラフトワイン・シードル特区」の認定を受け、農業者等による果実酒製造への新規参入や果実の高付加価値化、市外からの移住を含めた新たな担い手の確保が期待される。

事業概要

いわてワインヒルズ推進協議会負担金等 50千円  
 構成団体負担金  
 ワイン・シードル醸造志向者に対する支援 8,745千円  
 醸造技術習得支援事業補助金、セミナー開催、ワイナリー整備等事業補助金  
 花巻ワインプロモーションイベント開催 4,356千円  
 首都圏でのワインプロモーションイベントの開催  
 ワインツーリズムの実施（中止） 0千円

担当部署	05200000 地域振興部 定住推進	担当課長	鈴木 早織
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

いわてワインヒルズ推進協議会 50千円  
 ・平成29年6月6日、ワインを核とした産業の振興と地域の活性化を図ることを目的として、岩手県や県内ワイナリー、関係市町村等で構成される「いわてワインヒルズ推進協議会」が設立。本市からは㈱エーデルワイン、高橋葡萄園、(合)亀ヶ森醸造所、アールペイザンワイナリーの4ワイナリーが参加。

ワイン・シードル醸造志向者に対する支援 8,745千円  
 ・醸造研修受け入れ支援 1件 35千円  
 研修生：もんのすけ農園、研修受入先：株式会社スリーピークス（大船渡）  
 ・醸造技術・ワイナリー経営セミナーの開催 2回 349千円  
 マーケティング戦略セミナー（日本コンサルタントグループ）、日本ワインセミナー（鹿取みゆき）  
 ・ワイナリー整備等事業補助金 8件 8,361千円  
 ワイナリー新設1件、醸造設備の新規導入3件、販路開拓4件

花巻ワインプロモーションイベントの開催 4,356千円  
 ・日本ワインの産地として、山梨県、長野県、北海道、山形県の認知度は高いが、山形県に次ぐワイナリー数を有する岩手県の認知度は低い。大迫地域のワインは50年以上の歴史があり、国内外のワインコンクールでも高評価を受けているものの、近年の日本ワインブームにより、全国各地においてワイナリーが新設されていることから、このままでは埋没してしまう可能性がある。  
 ワイン消費量の多い首都圏での販路開拓と、花巻ワインの認知度向上のため、首都圏等での飲食店において花巻ワインフェアを開催した。また、オンラインを通じてWEB展示会の実施を行うなどWEB上で花巻4ワイナリーのプロモーションを展開した。

ワインツーリズムの実施 0千円 令和2年度中止  
 ・ワイン産地としての認知度を高め、交流人口の増加を図るため、本市におけるワインツーリズムの取り組み方について、市内関係者を巻き込んだワークショップを通じて検討を行う。また、その結果を踏まえたワインツーリズムを企画・実施する。  
 将来的には、地域のプレイヤーを巻き込むことで、ワインツーリズムのノウハウを活用した新たな地域ビジネスを創出することを目指す。

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164360	花巻クラフトワイン・シードルブランド化推

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3